

第33回 東京ストーマリハビリテーション講習会

集合演習・グループワークのための事前課題

ストーマ造設術後のケアプログラム

東京女子医科大学病院：小川真平

遠藤医院：遠藤真琴

済生会三田訪問看護ステーション：遠藤由布

JR 東京総合病院：小宮山敬子

・日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会(JSSCR)の基礎教育講習会 e-learning を視聴してから 作成してください

・各資料をダウンロード・印刷して事前学習を行い、演習・グループワーク当日に持参してください。

・該当する事例以外の事例内容も、演習当日までに把握して演習に参加してください。

【事前学習の進め方】

- ① 術前ケアプログラムと同じ事例で、術後ケアプラン(術直後と社会復帰に向けて)を立案してください
術直後・・・手術当日～術後2日頃まで 社会復帰に向けて・・・離床～退院まで
- ② なぜそのケアが必要なのか、根拠も含めて事前学習用紙に記載してください
- ③ もう一つの事例に関しては、学びを深めたいと思われる方は、自己学習を行ってください
- ④ 一般的な術後合併症などは不要とし、ストーマ造設に特化した内容で行ってください

【学習の目標】

GIO5:適切なストーマケアを提供するために消化管と尿路のストーマ造設術後の基本的ケアを修得する SBOs:

- 5-1. ストーマ保有者への精神的援助を効果的に行うことの重要性を説明できる。(A)
- 5-2. ストーマおよびストーマ周囲皮膚の観察のポイントを列挙できる。(A)
- 5-3. 術後早期のストーマの特徴と正常な経過について説明できる。(A)
- 5-4. 術後のストーマケアの目標を列挙することができる。(A)
- 5-5. 術後に用いる装具の選択条件を説明できる。(A)
- 5-6. 術後のスキンケアを適切に実施できる。(A)
- 5-7. 術後の尿路ストーマにおけるカテーテルの適切な取り扱いについて説明できる。(A)
- 5-8. ストーマ保有者の状況に合わせた退院指導の内容^{*10}の説明が実施できる。(A)
^{*10} 日常生活の留意点、(食事・入浴・性生活・旅行・運動・職業・学校)、ストーマ用品の管理方法(入手方法・保管管理方法・破棄方法・災害時、非常時の備え)
- 5-9. セルフケア指導の要点を説明できる。(A)

GIO17: 周術期ならびに継続的なストーマケアを安全に提供するために、感染対策やケアにおけるリスクを理解し、ストーマ保有者のセルフケアの不安に配慮しながらストーマケアを指導する能力を身につける

SBOs:

- 17-1. ストーマケアの場で、標準予防策、感染経路別予防策を遵守できる (A)
- 17-2. 皮膚保護材を用いた排尿・排便法、灌注排便法で、危険な自己管理につながる行為を回避するように指導できる (A)
- 17-3. 緊急に病院に連絡すべき手術やストーマの合併症と症状^{*21}を、ストーマ保有者に指導できる (A)
^{*21} 出血、腹痛、尿流出障害、カテーテルの抜去
- 17-4. 地域のごみ処理のルールと医学的な感染対策が両立する、装具の廃棄方法を立案できる (A)
- 17-5. 安全な継続的ストーマケアのために、ストーマ外来や多職種連携が重要であることを説明できる (A)